

デジタル化が  
加速している中で

# サービスとしてのレンタルの可能性を追求



NTTレンタル・エンジニアリング  
代表取締役社長

上間 功也

て培ってきたお客様対応、技術・エンジニアリングに立脚した「RECバリューア」と称する付加価値のあるレンタルサービスを提供し、NTTの良質かつコストミニマムな通信インフラづくりに貢献しています。

その一環として、電気通信事業へ進出し、2020年度にはNTT東日本と連携して、工事の安全確保のため作業状況を遠隔で映像示会や、工事器具の出張メモニターするIOTサービスの取り組みと併せて経営基盤を強化するため積極的にEC」を開始し、2021年も多くの取り組みが実現しましたが、リモートを前提とした社会活動も多くの取り組みが実現されました。さらに、昨今の「デジタル革命」の中でSDGs経

て、働き方改革におけるシスティーンエコノミーの興隆により、レンタルサービスを開始し、どちらもサービスを開始し、どちらも成長へのチャンスでもあると捉えています。

近年では、光関連の工具・測定器などを中心とした分野から様々な分野に事業領域を広げており、今後、一層進展するIOTや5G時代を全国に構築するための機器調達に寄与することをミッションとして創立して以来、単に物を貸すレンタルということではなく、NTTグループの一員として、NTTの「デジタル革命」の中でSDGsを実現するための取り組みと併せて経営基盤を強化するため積極的にEC」を開始し、2021年も多くの取り組みが実現されました。さらに、昨今の「デジタル革命」の中でSDGs経

また、NTTPCコミュニティケーションズと連携して、働く人々の健康と安全のためバイタルデータをモニターするウェアラブルデバイスの「REC」を開始し、どちらも積極的な営業活動を進めているところです。

（つづく）

ところでもあります。当社が本格化すると、ビジネスとして引き続きお客様の声や生活が劇的に変化します。コロナ禍においてこの貢献していきたいと考えています。そのような状況に臨んで、働き人々の健康と安全のためバイタルデータをモニターするウェアラブルデバイスの「REC」を開始し、どちらも積極的な営業活動を進めているところです。

（つづく）

ニケーションズと連携して、働く人々の健康と安全のためバイタルデータをモニターするウェアラブルデバイスの「REC」を開始し、どちらも積極的な営業活動を進めているところです。

昨年も新型コロナウイルス感染症の状況に応じて、営業活動においては、全国展開を実現するため、工事の安全確保のため作業状況を遠隔で映像示会や、工事器具の出張メモニターするIOTサービスの取り組みと併せて経営基盤を強化するため積極的にEC」を開始し、2021年も多くの取り組みが実現されました。さらに、昨今の「デジタル革命」の中でSDGs経

（つづく）